

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 生涯学習課

会議の名称	令和3年度 第1回茅野市社会教育委員の会議		
開催日時	令和3年5月27日（木）午前10時00分～午前11時30分		
開催場所	茅野市役所 8階大ホール		
出席者	矢崎美知子委員（委員長）、大作公明委員（副委員長）、市川純章委員、五味俊二委員、長田秀子委員、中村正幸委員、宮坂章委員、矢崎智義委員 山田利幸教育長、北沢政英生涯学習部長、有賀淳一こども部長、田中ひろみ生涯学習課長、河西茂廣生涯学習係長、畑中紀之教育指導主事、柳平美穂生涯学習係主査、伊藤利恵文化芸術担当、両角勝元中央公民館長、辻井まどか同教育係長、今井祐子家庭教育センター館長、五味一男図書館長、両角香代同係長、五味健志文化財課長、小池岳史同文化財係長、守矢昌文尖石縄文考古館長、山科哲同係長、両角徹生八ヶ岳総合博物館長、柳川英司同係長、中澤正明神長官守矢史料館長、両角勝元同担当、伊藤善彦スポーツ健康課長、内山誠治同係長、宮下孝こども課係長		
欠席者	金田照俊委員、内藤恵理子委員、五味留美子こども課長		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
生涯学習課長	<p>1 開会 本日の会議は、新型コロナウイルス対策として、マスク着用のまま進めさせていただきます。皆様からご発言をいただく際にもマスク着用のままをお願いします。また、本日の会議の終了時間は、11時30分を目安とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。</p>		
教育長	<p>2 委嘱書の交付 教育長から各委員へ交付</p> <p>3 教育長あいさつ 冒頭からコロナの話になって申し訳ありませんが、いわゆる第3波が茅野市の場合4月6日から大きく猛威を奮ってきました。ご承知の通り、茅野市の大人だけで二桁を超えた方が感染しています。県の発表をトータルしていけば感染者数が出てくるわけですが、かなりの数になります。そうした中で、幼稚園・保育園・小学校・中学校そして直接の所管ではありませんが高等学校の中で、子どもたちも何人かが罹患しました。ただ、幼保・小中学校・高校とも子ども間の感染、生徒間の感染、学校内での感染というのは一切ありませんでした。今のところ子どもたちの感染、子ども同士の感染はすべて防いでいます。このことについては、医療関係者の方々からも、子どもたちは本当によく頑張っていて大人よりも気をつけている、こうした子どもの姿を評価してやってください、というようなお話を伺っていま</p>		

	<p>す。</p> <p>さて、本日の会議になりますが、年間事業計画、それから各社会教育施設の計画をご審議いただきます。ご存知の通り、茅野市の場合、中央公民館からスポーツ健康課の所管する運動公園まで、非常に多くの社会教育施設があります。そうした中で、近年のコロナの影響もありますが社会教育のあり方について、ここ2、3年、新たな模索状態が始まってきています。茅野市の社会教育をこれからどうしていくかという点について、皆様のご意見を伺えたらと思います。どうかよろしく願いいたします。</p> <p>4 自己紹介（委員のみ）</p> <p>5 正副委員長を選出 事務局の腹案により選出、承認される。 委員長 矢崎美知子委員、副委員長 大作公明委員 正副委員長着任あいさつ</p> <p>6 会議事項 （これより、議事進行は委員長が行う） （1）審議会の公開について 審議に先立ち、審議会の公開について事務局から説明を行う。 ～資料1の説明～ 本日の会議の公開、議事録の公開について説明及び確認を行う。 非公開基準に該当する項目はないため、当会議を公開とする。議事録に関しては、委員名を表示せずにホームページで公開する。 （承認） （2）社会教育委員の役割について 審議に先立ち、社会教育委員の役割について事務局から説明を行う。 ～資料2-1の説明～ ～資料2-2の説明～ 9ページ、令和2年度諏訪地区社会教育委員連絡協議会第1回理事会の資料として添付されていたもの。こういった活動をすれば良いかというヒントが分かりやすく掲載されていたので今回も資料を添付した。今後の活動に役立てていただければありがたい。</p> <p>委員長 質問等ありましたらお願いいたします。（質問なし）</p> <p>（3）令和3年度社会教育委員年間事業計画について 資料に基づき、年間事業計画について事務局から説明を行う。 ～資料3の説明～ 生涯学習係長 茅野市が主催する社会教育委員の会議は、本日の会議、8月に臨時会、3月に最後の定例会を予定しています。なお、8月の臨時会は、例年ですと茅</p>
--	--

	<p>野市社会教育推進計画の進捗状況を確認する会議として開催していますが、コロナ禍ということがあって、開催するかしないかは全庁的にその計画の所管課に任されている状況ですので、開催可否については正副委員長と相談のうえ決定させていただきます。それから10月15日に研修視察が予定されています。コロナ前は県外へ研修に出ておりましたが、身近なところでやりましょうという話になっていて、諏訪地区周辺での視察先を考えております。こちらは茅野市が当番ということですのでぜひご参加をお願いします。その他参集範囲のところに「委員全員」とあるものにつきましては、随時ご案内をしていきます。平日の昼間のものが多いですが、なるべくご都合をつけていただきご参加をお願いします。今年1年間このような計画で進めたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ご意見ご質問等ありますでしょうか。(なし) (承認)</p>
<p>生涯学習係長</p>	<p>(4) 社会教育関係団体補助金の交付について 資料に基づき、社会教育関係団体補助金交付団体と補助金について事務局から説明を行う。 ～資料4の説明～ 補助金交付予定の7つの団体は、いずれの団体も青少年教育や成人教育などの社会教育活動を行う公益性の高い団体です。参考資料として別冊(参考資料1)で、事業報告と事業計画を添付しました。細かい説明はしませんが、実績が客観的にも認められる団体ということになり、今年度もこれらの団体の社会教育活動を支援することを目的として、補助金を交付してよろしいかご意見を伺うものです。なお、昨年まで補助金を交付していた茅野市連合婦人会は、役員の高齢化等の理由により今年度中の解散を検討しているということで、補助金の申請がありませんでした。</p>
<p>委員長</p>	<p>ご意見ご質問等ありますでしょうか。(なし) (承認)</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(5) 令和3年度茅野市社会教育に関する計画及び課題について ～資料5の説明～ 説明に入る前に、18ページの資料5について少し説明をさせていただきます。社会教育委員の会議については通常年2回、年度初めと年度末、それから臨時会等がありますが、事業計画と事業報告について施設・部署ごとに説明をしてご意見を頂戴してきました。前回3月の委員会の時に、各施設の事業詳細は各審議会や協議会等で検討しているので、細かい事業報告よりもこの会議ではもっと大きな方向性の検討、PDCAのプランの部分の検討ができるような資料が良いとのご意見を頂戴しました。そのご提案を受けて今回の資料は、部としての大きな役割、基本方針とその他に令和3年度の主要事業計画として、各部署で概ね1事業程度に絞って挙げさせていただきました。今まで提出していた形式の資料は、参考資料2として別添とさせていただきます。本日こちらの説明は省略させていただきますの</p>

<p>生涯学習部長</p>	<p>で、補足資料としてご覧ください。また、各々の施設・部署におきましては、課題や懸案事項等もあります。その点についても委員の皆様にお伝えして、共有をさせていただく中でご意見を頂戴したいと考え、資料23ページ以降に重要課題・懸案事項等として掲載をしています。今回はこのような資料を作らせていただきましたが、今後どのような形が良いのか、皆様からご意見をいただいで改善しながら進めていきたいと考えています。それではまず生涯学習部長から説明をさせていただきますが、皆様からのご意見質問等につきましては、すべての説明が終わったところでお受けしたいと存じますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>生涯学習の担っている役割は、自ら学ぼうとする意欲にこたえ、学習の場と出会いの場を提供することで、学ぶ楽しみや喜びを醸成するとともに、生きがいに繋がる学習を支え、生きがいを持って生きる環境を提供することです。そのため、誰もが学び続けることのできる学習環境を整え、目標に向かって努力する人を支援します。</p> <p>主要事業計画については、学びを支える、学びの成果の活用を支える、つながりを支えるの3つの支えるを通して、人と人とのきずなを大切にしたい取組を推進します。</p> <p>重点課題・懸案事項については、生涯学習部、こども部とも懸案事項はきりがありません。現状社会教育に関する事で申し上げるならば、「コロナ禍における社会教育施設の利用制限について」を挙げさせていただきました。これは4月に諏訪圏域のコロナ感染が急拡大し、対策強化が必要となりましたので、各施設で検討し、コロナ対策本部会議で承認されたものとなっています。基本的には茅野市内で感染が発生しても、直ちに公共施設全館の閉鎖とはならず、感染警戒レベルに応じた対応の目安を決定させていただいています。以下、各施設の対策内容を掲げておりますが、施設ごとの状況は当然のことながら相違があり、利用者層、施設の規模、特性等により、それぞれの基準を定めておりますので、ご覧をいただきたいと思ます。</p> <p>(資料5に基づき、各課・施設の主要事業計画・懸案事項等を説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいま主要事業計画及び主要事業の重点課題懸案事項等をご説明いただきましたが、ここで皆さんからご意見をお伺いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば縄文検定や市民研究員など、ある一定の時期で呼びかけてその人達を囲って育てていきますが、きっと高齢化していなくなる時が来るので、覚悟を決めたら細く長くやっていくということが必要だと思っています。一部の人だけがリピーターになっていないかということです。茅野市に新しく入ってくる人もたくさん居ると思うので、そうした人達を取りこぼさないように継続していく、そしてその講座に来ていなかった層を取り込むような、多くの市民をどれだけ取り込んでいるかという多様性も必要だと思っています。それから、コロナ対応の話ですが、一時の対応なのか長期的な転換なのかということころは考えていかなければいけないことだと思いま</p>

委員

す。例えば日本の博物館は世界的にみてデジタル化が遅れているという話がありますが、従来の展示を続けている中で、これを機に長期的な転換を図らなければいけないのかというところの見極めは必要だと思っています。大学教育も実は同じで、一時のリモートなのか、新しいリモート教育の時代が来たのかと…そのようなことを感じています。

初めて参加して、皆さんが大変ご苦勞されて活動されているということを感じました。茅野市の文化を大事にするということは非常に良いことだと思っています。地元愛を深めて、大人になっても茅野市を大事にする、残っていく。茅野市から人が出ていかに愛着を持たせるためにも、もう少し面白いアイデアを出したり、茅野市には諏訪東京理科大学があり公立化されてとても優秀な学生も来ているので、その人たちと連携したりすれば、先ほど話にあったデジタル化も進められるのではないかと思いますし、関わった学生が茅野市に残ってくれるということが出てくればよいと思います。2、3年前に諏訪圏まちづくりプロジェクトというものに参加したことがあるのですが、縄文関連商品を東京で売り込んで、茅野市をアピールしようと、若い起業された方が茅野市を盛り上げる活動を熱心に行っていて、そういったところとも連携を図ることで茅野市の人口増加につながってくるのではないかと感じました。

それから PTA の立場で見ると、私の子どももサッカーをやっている、他の子ども野球やバスケットボールなどいろいろやっているのですが、やはり茅野市や諏訪圏の施設は、長野県の中でも全国的に見てもちょっと寂しい感じがします。スポーツを通じて人間が成長するということを感じていて、厳しい練習に絶えて試合で勝ち負け、その中で、人間性が磨かれたりチームワークが磨かれたりする。設備や施設が少ないから茅野市から出ていってしまうということになると非常に惜しいと思います。できればそういったスポーツ施設も他の市町村に負けないようなレベルまで上げていって、県外から茅野市に来てくれる子どもたちが増えてくればいいと思います。運営する側は大変だと思いますが、新たな視点で進めてもらえれば嬉しいです。

委員

コロナ禍の中で皆さんがご苦勞されていることもよくわかりました。私が若い頃にいろいろ活動させてもらった時に、新たな施設がいっぱいできて楽しく若いころを過ごした施設が、今、本当に老朽化が進んで大変なことになってきていて、退職してからはボランティア活動でいろいろな施設にお世話になっていますが、施設も頑張ってきたけれど、もう 30 年も 40 年も経ったんだな、などということを考えていました。

家庭教育センターにも時々行きますが、いろいろと世の中が変わっている中で、0123 広場はまだ新しいですが、講座は確かに重複していると言えば同じような活動もあるかと思っています。0123 広場に行っている人たちを見ると、あちらはあちらで若いお母さん方が楽しんでいらっしゃるし、こちら(家庭教育センター)はこちらで大事だと思うので、その辺の兼ね合いを考えていただければいいかと思っています。

今、玉川地区のコミュニティスクールの関係で活動していますが、地区

<p>こども係長</p>	<p>こども館のことが気になっています。昨年、来年はあり方について考えていきたいということで話を聞いていたのですが、放課後の子どもたちの居場所づくりとして設置され、コロナ禍になってからは人数制限もあって、80人も来るなどということはないようですが、結構な人数の利用があって、あれほど子どもたちが必要としている場所だったのに、この先どうなっていくのかというところが気になります。</p> <p>地区こども館のあり方検討ということで、昨年度、各地区の運営委員の方々とお話しをさせていただく中で、玉川地区については、子どもの数が多いということで、学童クラブの利用状況も見ながらどういった運営がいいかということ今年度以降考えていきたいという予定をしています。人数制限については、コロナ下ということで3密を避ける対応をとりながら運営しています。</p>
<p>委員</p>	<p>僕は2年前に大阪から来ました。ここは本当にすばらしいまちで、この自然とか子どもたちの育みを皆さん方のご努力でこういう文化が築き上げられてきたのだなというふうに感じています。できたらうちの子どもも小さいうちからここで育てたかったと思うのですが、ちょっと視点を変えて、「コロナと学校」ということで少しお話させていただければと思います。</p> <p>高校生を預かっています。そしてこのまちに千人規模の生徒が通学しています。茅野市や諏訪圏域で感染者がウワーツと増えたときに3日ほど休校にしました。そうしたらどうなったかということ、「お前のところ出たのか」という電話が入るわけです。我々としては、これだけ急増している中で生徒を預かるのはリスクがあるだろう、また、もし生徒が罹患した時に皆さんにご迷惑をかけることになるだろうということで、休校にしてリモート授業に切り換えました。コロナの前と後ということで、やはりコロナを一つの契機としてプラスに捉えていかないといけないだろうと思います。例えば会議です。書面会議で済むなら、対面で合わなくても良いでしょう。あるいは3者面談。以前は学校に保護者がどンドン車に来て構内で事故が起きたりしているわけですが、3者面談もリモートでやっています。今年の1月のこと、本校は寮も抱えていますから首都圏へ帰る生徒もいました。3年生は3学期に2週間程度授業があるのですが、郷里から帰ってきて寮に入って、ひょっとしたら感染になるかもしれない。その時は3年生をリモート授業に切り換えました。そういう何か基本的なあり方というか、我々はコロナによって成長しないと損じゃないかと思います。生徒に常々言っているのは、「一番悪いものは何か」ということです。コロナにかかったら悪者なのか、そうじゃない、コロナにかかったことを揶揄したり誹謗中傷したりする者、それが悪だよねと。郷里の大阪に母親が一人でののですが、2年ほど帰れないです。それはこちらのコロナの関係があるから。僕は車が長野県のナンバーじゃありません。「私は、長野県民です」というステッカーを張りました。どこに売っていますかと僕のところに来てくれる人もいました。コロナ感染者が多い県と少ない県の意識が全く違う。聞くところによるといろんなところでコロナ差別が起きているそうです。驚いたのはここで放送が流れることです。「何々市にいらっしゃる〇歳代の男性が</p>

委員

コロナに感染しました。」僕はそれを聞いてびっくりしました。これを大阪でやったら1日中放送しないとイケない、こういうのって大丈夫なの、と妻と話をしました。次は「感染したのはどこの誰だよ」という話になりますよね。今回コロナと出会って、我々はどのように人権であるとか、きちんと認めながら高校生に伝えていかなければいけないのかということは、今現場で起きていることです。コロナの前と後、いろんなものも変わっていくのが必然だろうと思っています。ちょっとこの場をお借りしてお話をさせていただきました。

私が思ったことは、施設の老朽化です。特に私はスポーツ協会ですので、運動公園の施設が老朽化でもし何かあれば困るな、ということが一番気にしています。去年、体育館のフロアの張り替えはさせていただいて、市当局の皆さんには感謝申し上げます。改修前は床がささくれ立っていたりして転べば危ないような状況でした。それを全面張り替えていただいて、大変すばらしいフロアになりました。他の施設に関しても、それぞれ大分古くなってきていて、一度には無理だと思うのですが、ある程度の長期計画で順々に直していただければありがたいと思います。

あと、週3回小学校のミニバスケットボールを教えています。今小中学校の体育館がレベル4で使えない状況になっています。総合体育館を使わせてもらえる時はいいのですが、人数の加減で分散して使わなければいけないような時もあります。多分、他のスポーツ少年団の方たちも不自由しているのではないかと思います。これまでも使用前は必ず消毒して検温して、使用後も窓枠までアルコール消毒して使わせていただいていたのですが、ちょっと融通をきかせていただいて、使用することができないかお聞きしたいです。

こども部長

この件については学校教育課の所管になりますが、学校教育課長がこの会議には出席していないので私からお答えします。ご指摘のとおり学校の貸出施設については、現在、貸し出しを停止しています。皆様方には、ご不便をおかけして大変申し訳ないというふうに考えています。

コロナの状況ですが、今現在、旧来型ではなく新しい変異型のウイルスが入ってきています。医師等々とお話をさせていただく中で、非常に旧来型に比べて罹患しやすい。それから、若年層でも重症化の傾向がある。ただし、子どもたちに対して重症化するというエビデンスはないそうです。茅野市においても30代・40代において重症化の傾向が見られたということで、今までとは違った状況であるということがコロナウイルス対策本部会議の中で確認されているところです。現在、小中学校の貸出施設については、屋外の施設は特に制限を設けていませんが、屋内の施設については、先ほどのような状況を考慮して、子どもたちが多く使うところであるということ、それから、学校の中では子どもたち同士の感染は起こっていませんが、以前から、例えばご家庭の中でお子さんの方に感染しているというような状況も把握しています。そのような状況の中で、一度学校の中でクラスターが起きてしまうと、非常に影響が大きくなってしまいます。そのようなことを踏まえて、レベル3に落ちたところで貸し出しを再開す

委員

るという方針を立てています。これまでの経過等を見ますと、諏訪圏内がレベル2であっても、隣接する松本、上伊那、佐久の方でレベルが上がってくるとそれを追うようにして諏訪圏域のレベルが上がってくるということが確認されています。現在、近隣の上伊那がレベル5の状況ですので、そのようなことも踏まえての措置です。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、その辺のところをお含みいただいて、ご協力をお願いしたいと思います。

まずはお礼を申し上げます。前回の会議でもうちょっと全体が見える形にさせていただきたいという要望を出しましたが、早速対応していただきありがとうございます。各部署の課題や何を一番やりたいのかということがよくわかりました。

それで、2点申し上げたいことがあります。もうちょっと踏み込んだ形にしようと思った場合に、生涯学習部全体の基本方針がとても良い方針で、「いつでも」「どこでも」「なんでも」もう一つ言えば「誰でも」、そういうことができるかどうかという観点で、一度その事業を、自分たちがやっていることを見直していただければ、観点を落とすことなく評価ができるのではないかという気がしています。また、学びを支えているのか、成果の活用ができているのか、繋がりの方からはどうなのかという形で、各部署がやっていることを今一度自分たちで見直していただければ、評価とか、次のステップはどうするのかというのがわかりやすくなる気がします。皆さん本当に一生懸命やってくさっているのですが、どうしても視野が狭くなりがちのところが出てくるのではないかと思います。

もう1点は、既存の組織の中の発想でいくと画期的なアイデアはなかなか出てこないと思います。例えばアイデア出しのブレインストーミングみたいなことをやると、茅野市として、あるいは社会教育関係で、こういうことができるんじゃないか、というようなアイデアが出てくるのではないかと思います。

それから、先ほども話が出ましたが、学びを支えるという意味から言えば、公立諏訪東京理科大学がここにあるということは本当に大きなポテンシャルですし、言い方は失礼かもしれませんが、うまく活用して一緒にやったりすれば、学びを支えるとか、もっと学ぶとかという面から言ったら、他の市町村ではできないことができるのではないかという気がしています。既存の組織の中で発展させていくことは、部署としてやりにくい話かもしれませんが、市全体として考えたときに、何か茅野市でもうちょっとこういうことができるんじゃないかということのアイデア出しみたいなことを一度やってみても良いかもしれないことを思いました。

委員

各部門からのご説明ありがとうございました。事業計画・目標についてこのような形でまとめていただき、大変わかりやすく、理解することができましたし、内容についてもとても良いと思います。ソフト面については申し分ないというふうに思った次第ですが、他の委員からもご指摘があった建物などのハード面の話はちょっと心配です。具体的には蛍光灯を生産しないわけですからLED化していく、トイレの洋式化についても観光施設

	<p>ではどんどん進んでいますが、教育施設ではまだ遅れがありそうですので、早急に予算を取っていただいて、長期的、中長期的に計画を立てて老朽化対策を行っていただきたいと思います。「建物が古いから、中身の目標をしっかり持って」という話が図書館長からありましたけれども、建物もやっぱり大事だと思います。安全の面もありますし、やはりいい環境の中でしっかり学習ができるということになると思いますので、ぜひ、予算付けをしていただきたいと思います。</p> <p>それから、縄文遺跡の計画についても素晴らしいなというふうに拝聴しました。あえて一つ、もうすでに議論し尽くしているかもしれないですが、棚畑遺跡の関係で、中ツ原の縄文公園のところは非常にいい展示ができていると思っているのですが、棚畑遺跡はちょっと寂しい感じがしています。人の土地だったりするので難しい面もあるかもしれませんが、何とかならないものかという気がしています。</p>
文化財係長	<p>棚畑遺跡につきましては、日本電産サンキョー株式会社様の会社敷地をご厚意でお借りして看板を設置させていただいたりしているところです。昨年、会社へご挨拶がてら伺って話をさせていただきました。あそこを市としても売り出したいし、会社側としても何かメリットのある形にできないかということで、今後は、お互いもう少し連携を深めていこうという話になりました。先日、たまたま敷地の脇の道を通ったのですが、お借りしている部分の草刈をして綺麗にしてくださっていて、例えば私たちも会社と一緒に草刈をすとか、本当に地道なところから実になっていけばいいと感じました。私たちも常に気にしていますし、会社の皆さんも本当に気にかけてくださっていますので、良い関係を築きながらしっかりと売り出していければと思っています。</p>
委員長	<p>皆さんご意見ありがとうございました。ちょっと私から一言、生涯学習ということで、皆さんいろんなところで活動を進めていらっしゃるが、やはり生涯学習はどちらかというと自分に返ってくる、自分を高めるための生涯学習という感じがあります。それが社会教育ということになると、茅野市全体、社会全体に広めていくことで、やはり何かみんなが元気が出る社会を作っていこうという意識の方にみんなが向いてくれたらいいと思います。生涯学習が学ぶことによって社会教育の方へ繋がっていく。自分の中だけで終わることなく社会に貢献できるようなことを、みんなが学べる機会になればいいと思っています。</p> <p>もう一つ、昨日でしたか、ニュースで世界文化遺産に三内丸山遺跡が指定された話が出ていましたので、ぜひ茅野市も日本へ、世界へ、大いにアピールしていただいて、いろいろな施設の方も環境を整えていただければと思います。</p> <p>最後にこのような意見を申し上げましたが、皆様よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p>
生涯学習係長	<p>7 その他 本日、机上に配布した研修会等の資料を事務局から説明</p>

副委員長

9 閉会

それでは以上をもちまして、令和3年度第1回茅野市社会教育委員の会議を閉会といたします。お疲れ様でした。

～午前11時30分 会議終了～